

# 平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 三郎丸 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成29年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

### 1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 調査内容

#### (1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

#### (2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

#### 全国・本市・本校の実技調査の結果

##### <男子>

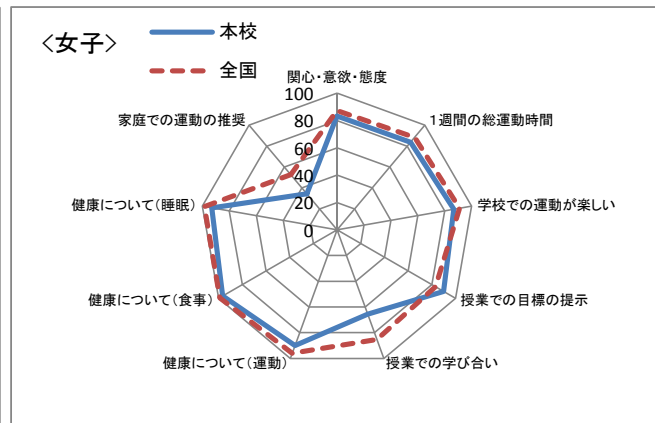
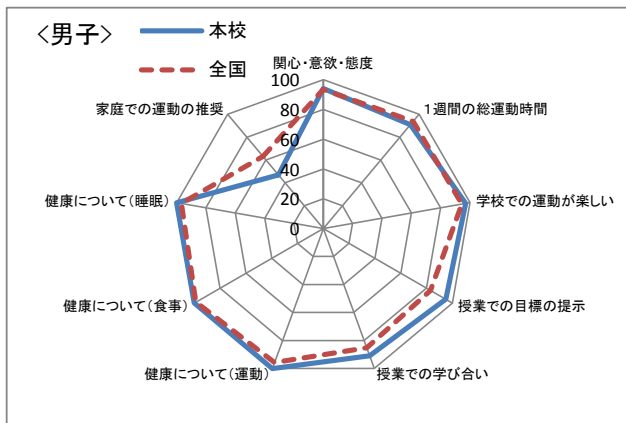
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.51	19.92	33.15	41.95	52.24	9.37	151.71	22.53	54.16
本市	16.67	20.32	33.09	40.91	52.67	9.38	152.51	24.17	54.37
全国平均以上の種目	○	○	○		○		○	○	○

##### <女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.12	18.81	37.43	40.06	41.62	9.60	145.47	13.94	55.72
本市	16.47	19.16	37.19	39.55	42.13	9.62	145.98	14.41	55.96
全国平均以上の種目	○		○						

### 4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

#### 質問紙調査レーダーチャート



#### 質問紙調査の結果分析

運動習慣に関しては、男女共に全校平均と大きな差はない。特に男子は、ほとんどの項目で全国平均を上回っており、運動への関心・意欲が高いことが分かる。一方女子は、全国平均と大きな差はないものの、ほとんどの項目が全国平均を下回っており、運動への関心・意欲が低いことが分かる。授業だけでなく、委員会活動主催の運動に関する集会等で、遊びを通して体を動かす機会を提供したことで、運動量を確保できた。しかし、それらの運動(遊び)を日常化させるまでには至らなかったこと、主体的に体を動かす児童とそうでない児童(特に男女間)に差が開いてしまったことが課題である。また、児童の実態について、保護者への情報提供や、家庭での児童への運動の推奨への啓発が十分でなかったことも課題として上げられる。

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 体育科の授業(準備運動)において、「北九州体力向上プログラム」中から全校共通の運動を取り入れる。
- 体力向上推進担当者を中心に、指導法についての研修内容の伝達や校内実技研修を学期の初めに行う。
- 1時間の学習の中で、「めあて」と「まとめ」の提示、「学び合いの時間」の確保を引き続き行う。

#### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- 休み時間を使い、毎日のランランタイム(3分間走)と、定期的なチャレンジタイム(遊具を使った運動遊び)を実施する。
- 活動をワークシートに記録するようにし、児童の取り組みの様子や頑張りを、家庭にも伝えられるようにする。
- ワークシート等に簡単に取り組める運動の方法を記載し、家庭でも自主的に運動に取り組めるようにする。